

Environmental

環境 サマリー

基本的な考え方

地域および地球規模の環境保全は、エネルギービジネスを中心に事業展開するDaigasグループにとって極めて重要な使命です。我々のあらゆる活動が環境と深くかかわっていることを認識し、気候変動をはじめとする環境問題に対応し、革新的な技術の開発と普及を推進し、エネルギーのカーボンニュートラル(以下、CN)化を最重要課題として取り組むとともにエネルギーや原材料等の資源の高度利用、生物多様性への影響の回避と低減に取り組めます。

気候変動対策では、2021年1月には、「カーボンニュートラルビジョン」、2023年3月に「エネルギー・トランジション2030」の公表を通じて、2050年のCN実現への挑戦を表明し、新たな取り組みによる知見をもとに2030年までのエネルギー・トランジションに向けた考え方や具体的な方策を示しました。

その後、多数の再生可能エネルギー電源開発、複数のe-メタン^{*}製造プロジェクトの立ち上げ・推進、脱炭素化に資する革新的な技術開発の進展等により、未来に向けた活動を着実に深化させています。

また、国際的な地政学リスクが高まるなか、エネルギーのCN化と安定供給の両立が一層求められるようになっていきます。このような未来に向けた活動の加速やエネルギーに関連する事業環境の変化を踏まえ、2050年のCN実現に向けてエネルギー・トランジションのロードマップをより明確にするとともに、ステークホルダーの皆さまと「ミライ価値」を共創していくためのソリューションをまとめた「エネルギー・トランジション2050」を2025年2月に策定しました。

なお、「中期経営計画2026」において「エネルギーのカーボンニュートラル化」をマテリアリティの一つに位置づけ、CN実現への取り組みを加速させていきます。

※水素とCO₂を原料に製造された合成メタン

具体的な取り組み

方針・推進体制

中長期で掲げた環境分野でのビジョン・施策・目標の実現に向けて、「Daigasグループ環境方針」等の社内規程に則り、環境にかかわる重要事項については「環境部会」「サステナビリティ推進委員会」でモニタリングし、「サステナビリティ推進会議(経営会議)」にて報告・審議、取締役会に付議しています。

テーマ

取り組み事項

具体的な取り組み

環境マネジメント ➡ P.35

環境目標 ➡ P.41

- ・環境ガバナンスの強化
- ・環境マネジメントシステムの維持・継続
- ・環境目標達成に向けたフォロー・意識向上
- ・環境コンプライアンスの強化

2025年度実績

- ・環境マネジメントシステム(EMS)の継続運用
- ・バリューチェーンにおける環境影響の把握
- ・環境人材の育成 e-ラーニング受講(6,023人)

気候変動対策 ➡ P.42

TCFD提言に基づく
情報開示 ➡ P.56

環境技術開発 ➡ P.72

- ・CNへの貢献
- ・自らの事業活動でのCO₂削減
- ・お客さま先・バリューチェーンのCO₂削減
- ・社会全体へのCO₂削減貢献
- ・未利用エネルギーの活用

2025年度実績

- ・LNG船の効率的な運航、LNGバンカリング事業による船舶燃料の低炭素化、低公害車等の利用拡大
- ・天然ガス、高効率・高付加価値機器や再エネ電源の普及拡大によるCN化推進
- ・情報・不動産・材料分野の高品質なソリューション普及による環境価値の提供
- ・CDP「気候変動」に対応

環境目標 マテリアリティに基づくKPI

2025年度マテリアリティ実績

グループCO ₂ 排出量	2,332万トン(2017年度比 ▲870万トン) ^{※1}
CO ₂ 排出削減貢献量 ^{※2}	738万トン
再生可能エネルギー普及貢献量	454万kW
再生可能エネルギー電源比率	38.0%
自社オフィス・社用車CO ₂ 削減率	57%
e-メタン等社会実装の推進	e-メタンサプライチェーンプロジェクトにおけるFEED実施意思決定
メタネーション技術開発の推進	SOECメタネーションのベンチスケール装置の製作完了、試運転実施

マテリアリティ エネルギーの
カーボンニュートラル化

※1 国内サプライチェーン(スコープ1・2・3)における排出量

※2 2017年度以降にお客さま先や自社事業活動に導入する高効率設備や低炭素エネルギー等により、算定年度1年間にCO₂排出を削減すると推定される効果を算定

テーマ	取り組み事項	具体的な取り組み
資源循環社会への貢献 ⇒ P.59	- 事業活動での3Rの推進 - バリューチェーンでの3Rの推進 - プラスチック資源循環の活動 - 事業活動における化学物質の管理	環境目標 - 大阪ガス(ネットワーク会社、基盤会社含む)①産業廃棄物・一般廃棄物の再資源化率98%以上、②PE管リサイクル率100%、③ガスメーター再資源化率100% - 関係会社①産業廃棄物・一般廃棄物 再資源化率92%以上 - お客さま先や事業活動での使用済み機器等の3Rを推進 2025年度実績 - 大阪ガス(ネットワーク会社、基盤会社含む)①98.6%、②100%、③100% - 関係会社①96.9%
生物多様性 ⇒ P.63	- 生態系の保全の取り組みの推進 - 自然資本へのインパクト最小化に向けた取り組み - TNFD対応	環境目標 - 生物多様性への影響評価を通じたリスクの把握と保全の取り組みを推進する - ガス導管工事における掘削土の再利用促進による環境保全:導管工事掘削土の再資源化率99%以上 2025年度実績 バリューチェーンにおける生物多様性への影響の回避と低減への継続的な取り組み - バラスト水の管理 - 地域性種苗、希少種の保全 - 都市開発事業での地域性種苗の活用 - 導管工事掘削土の再資源化率99.9% - 地域やお客さまとの生物多様性啓発活動の実施
水資源 ⇒ P.71	- 自然資本へのインパクト最小化に向けた取り組み - 水リスク対応	環境目標 - 水ストレスの影響評価を通じて水リスクを把握し、水資源の保全を推進する - 水質汚染の防止:水質汚染に関する環境規制違反0件 2025年度実績 - 事業所での節水に努め水使用量を削減 - 水質汚染に関する環境規制違反0件
グリーン調達・購買 ⇒ P.114	グリーン調達・購買の推進	2025年度実績 「グリーンパートナー制度」の登録お取引先は162社